

山行報告 谷急山

(山 域) 西上州・裏妙義

(コース) 大黒岩-大烏帽子-谷急山

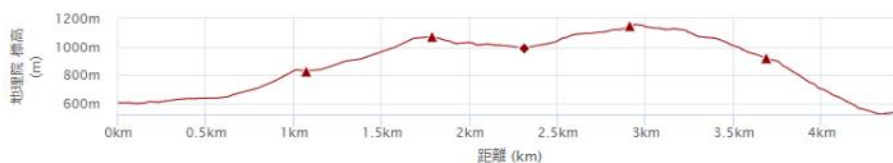
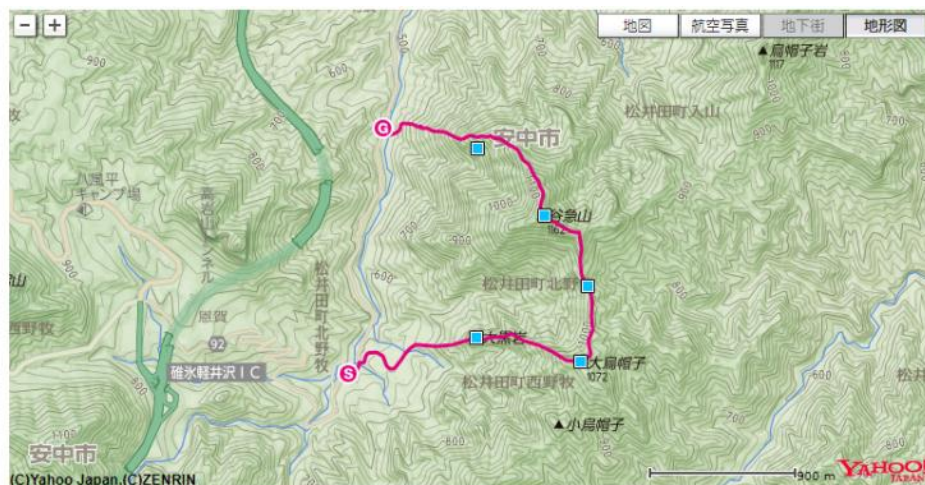
(日 時) 2018年11月4日(日)

(天 候) 晴れ

(参加者) 小俣、室(達)

(コースタイム) 7:20 県道92号線から入山→9:30 大黒岩→11:55 大烏帽子

→13:00 谷急山山頂→14:00 県道92号線



(報告)

県道92号線沿いにある古びた神社から入山し、大黒岩につながる細い尾根をしばらく登って行く。尾根の行く手をふさぐ岩峰を右に巻き、岩稜をすぎたと思われるところから、尾根へ登り返すことを目指す。歩きづらいトラバースが続いたあと、大黒岩頂部間近の稜線に着く。岩石を土壌で押し固めただけのような岩頭はたいへんもろく、触れただけで岩石がばらばらと崩れ落ちる。稜線の左右は断崖絶壁で、どちらからも容易に降りられそうにない。ぎりぎりのところまで右側へ降りて、懸垂下降する。おそらく登り返しが早すぎたのが間違いで、もっと大きく巻くべきだった。

大黒岩から大烏帽子までは、三つの岩峰が待ち受ける。第一岩峰は右側が切れ落ちているため左から巻いていく。尾根に戻るためには、岩峰の基部に乗り上げたあとに、草の根にしがみつこうにして岩峰の裏側をトラバースしないとイケない。これが一番恐ろしかった。第二岩峰も左側を巻く。落ち葉の降り積もった斜面をしばらく歩いたあと、尾根上のコルへ登り返す。このコルがちょうど第三岩峰の根元にあたる。第三岩峰はわりとわかりやすく、

岩壁に沿って右側を進んでいけばよい。ここから大烏帽子までは一投足。

大烏帽子のピークで昼食休憩後、谷急山の一般登山道目指して尾根上を歩いていく。ここはそれほど苦労しないと思われたが、登山道と合流する手前の岩稜を巻くのに手こずる。登り返すタイミングがなかなか見つからず、左側の谷を降り続けてしまう。なんとか登り返せそうな谷あいを見つけて、急登を登っていくと、あっさり登山道と合流することができた。谷急山手前の岩稜を左側に巻いたせいで苦慮させられたが、もしかしたら直登してもよかったのかもしれない。

谷急山山頂からは北西稜ルートでくだる。尾根が細いこともあって、トレースがはっきりしており、一般登山道と感じられるほど分かりやすい。傾斜は急だが、すんなり河沿いまで降りて県道に合流することができた。(了)